

みずなみ瀬戸の里だより

一年を振り返って

今年度もいよいよ終わり、アツという間の一年が過ぎました。いろいろ振り返ってみると、あつという間の一年の割には、いろんなことがあったな〜としみじみと思ひ出されます。

春には日帰り旅行にいきました。

夏には夏祭りがあり、花火を見ることが出来ました。

秋には文化祭が行われ皆さんの作品がたくさん並びました。

冬には餅つきやお正月そして新年会。

季節に応じた催しだけでなく、ユニットでもそれぞれ工夫された催し物がたくさん行われました。そのたびに入居者様の楽しそうな笑顔がたくさん見られました。

また来年も新しい年度として始まります。新聞委員も入れ替わります。新たな委員が入りこれからも楽しい「みずなみ瀬戸の里だより」を皆さんに読んでいただけるように工夫していきますのでよろしくお願いたします。



第30号
平成26年4月20日発行
社会福祉法人五常会
特別養護老人ホーム
みずなみ瀬戸の里
新聞委員会

新年会

今年もやってきましたこの時期が！

さあ今年の新年会は何が行われたのでしょうか...

行事委員長の挨拶から幕を開けた新年会。オープニングは、

2階職員による「ライندگان」曲に合わせて、本を閉じたり開いたり、雑巾とバケツを持った

りして踊ります。決まった踊りなので難しそうですが、バシッと決まるときれいに見えます。

次は3階職員による喜劇「サザエさん」、いつもはおとなしそ

うなあの子やこの子がかつらをかぶったり大きな声を出したり、

いつもと違って

た姿に

ギヤツ

プを感じ

驚き

でした。次は楽しい有志に



今月号のトピックス

新年会

節分

ユニットだより

新職員紹介

結婚おめでとう

新聞委員長あいさつ



年会の会場の空気もとってもぎやかになりました。

最後は沢山の笑顔で幕を閉じた新年会。さあ来年はどんな出し物を見せてくれるのでしょうか、今から楽しみで。

(岩井)



節分 鬼はく外 福はく内

今年も2月3日の節分の日、みずなみ瀬戸の里では赤鬼・青鬼がユニットに現れました。ユニットのお年寄り職員が力を合わせ、鬼に豆（新聞を丸めて豆を模したものを）を投げつけ、ユニットから追い払いました。追い払われた鬼は次々に別のユニットに現れますが、どこからも追い払われとうとう退散してしまい、皆で福を呼び込む事ができました。

また、昔からの習わしで鬼の嫌うひいらぎとイワシを吊るしてユニットの入り口に飾りました。

豆まきに使ったものと同じ炒った豆の数の数（歳の数より1つ多い数という風習もある）だけ取って食べて、一年の無病息災を願うという昔からの風習も、豆が食べられる入居者が少なくなり、出来ませんでしたが、昔を懐かしみ、若い職員たちに話して、姿が見られました。

お昼はでんぷや錦糸卵の巻き寿司を食べ今年一年が良き年でありたいと願います。



めました。皆さんにとって今年一年が良き年になりますように。

(加藤)



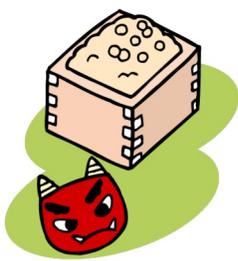
節分豆知識をここで一つ。節分にはいろいろな習わしがあります。記事で出てきたように「福豆を歳の数だけ食べる」これも歳の数だけなのか歳の数より1つ多くなのか、正解はないようですが。

また、節分の掛け声といえば「鬼はく外、福はく内」が一般的ですが、場所や地域、又は鬼頭さんなんていう名前の過程では「鬼は外」はいけないようです。「鬼も内、福も内」なんですね。

最後にもう一つ近頃は節分に恵方巻（海苔巻）を食べる習慣が一般的になってきましたが、確か記憶では昔は無かったような・・・これは新たな食品会社の陰謀か、とも言われそうですが、昔から近畿地方にはあった習わしのようにです。その年の恵方を向いて言葉を出さずに一気に海苔巻を食べつくすと、一年無病息災となる。今年の恵方はどの方向でしたでしょうか。

また地域によっては節分にこんにゃくを食べるといふ風習もあるようです。一年の体内に残った砂を外へ出すという意味があるようです。そういえば、こんにゃくは、体の中の砂を出すという事を小さいころに聞いたような。

節分と言ってもそれぞれの地域にそれぞれ習わしがあります。昔を思い出しながら来年も節分の催しが出来るといいですね。



ユニットだより

川折一・二番地

“鍋の季節になりました。”入居者の皆さんにお聞きしたところ、以前好評だったこともあり、今回もすき焼きをすることになりました。

食材を入れて、割り下を入れてぐつぐつ煮出すとユニット中にすき焼きのいい匂いが漂い、食欲をそそります。これから何が始まるのだろうと見に来られる方もいました。いつも食が細い方もこの日はたくさん食べていただけました。やはり皆で食べるすき焼きは格別美味しいものです。

これからも入居者の皆様の要望に応えられるような食事を考えて提供し、いつもと違った時間を過ごして頂きたいと思えます。

(岩井)

川折五・六番地

春の陽気が少しずつ感じられる季節になってきた3月某日、3月のお誕生日の方のお祝いを行いました。

今回は15時のおやつにホットケーキを作り、イチゴやブルーベリージャムや、生クリーム、そして季節を感じられる苺を用意し皆さんで思い思いにトッピングの飾り付けをしていただきました。

ホットケーキを焼いている傍らで「美味しそう・良い匂いがするなあ」「何が出来る?」と言った声が聞こえたり、トッピングの際に苺をつまみ食いしようとしたりと待ち遠しい様子が伝わってきました。皆さん美味しく食べて頂けた様でよかったです。

余談ですが、今回はホワイトデーに絡めて、苺をハートの型にしてみました。もしかしたら少し早い桜の花びらに見えた人もいたかもしれません。

(堀)

小里一・二番地

2月3日の誕生日の方のお祝いに、山岡のおばあちゃん市の手作り弁当を職員・入居者と一緒に食べました。色とりどりの沢山の種類のおかず、味ごはんのお弁当に「おいしそう」「きれいやね」と普段とは違う食事に興味津々！お弁当を目の前に皆様待ちきれない様子でした。

会食が終わり、誕生日の方にプレゼントを渡すと、照れくさそうに受け取られ喜んでくださいました。

年に一度の誕生日を祝ってもらい美味しいものを食べられるのはいくつになってもうれしいですね。



(加知)

小里五・六番地

2月27日にすき焼き鍋を皆で食べました。毎年この季節には鍋を楽しみますが、いつも水炊き鍋や寄せ鍋をして、いろんな具材を入れて楽しんでいたので、今年「お肉」がメインのすき焼き。野菜や魚も美味しいのですが、やはり肉は別格なのか、すき焼き鍋で煮始めると「今日は何?」「昔はすき焼きなんてぜいたく品で食べれなんだ」など気分も高揚して会話も多くなります。そんなこんなですき焼きが煮えてくると周りはずき焼きのいい香り、皆さんの胃袋を刺激する匂いにつばを飲み込む方も。いつもと違ったお昼ごはんに皆様箸が進み、あつという間に完食でした。「次はいつすき焼きやるの?」なんて声も聞かれ、笑顔あふれる昼食でした。

(水野)

よろしくお願ひします

3月よりみずなみ瀬戸の里の職員として入居者の皆様のお世話をさせていただく3名です。
よろしくお願ひいたします。

山田厚美

趣味

ウォーキング
絵をうつして描く

一言

何もかもが初めてで分からないことばかりですが、先輩方に教えていただきながら一生懸命仕事を頑張りますのでよろしくお願ひします。



藤井夕子

趣味

お菓子作りの料理
最近ジムに通ってます

一言

新人でまだ分からないことがあります、諦めず自分なりに頑張っています。
早く先輩たちに認めてもらえるように頑張ります！



中條ひろみ

趣味

ゴルフ。

一言

介護の仕事とは人が今まで生きてきたのに出来なくなってしまった事を支援する事。目上の方の支援をするという観点に立つと価値観の違いもあります。入居者様視点で考え質の高い介護を他職員の方と共に協力していきたいと思ひます。



おめでとうございします

介護職員の伊東由佳さんが、結婚され渡辺由佳さんとなりました。
最近はお奥さん業もがんばっているとか。

いつまでもお幸せに。

写真を見てお相手に「あれっ」と気づく人もいるかも。



新聞委員長より

新聞委員長を一年間務めさせていただきありがとうございます。とほい、私の力不足に新聞委員の方々には、大変迷惑をかけてしまい申し訳ない気持ちでいっぱいです。また同時に大変感謝しており、この機会をお借りしてお礼を申し上げます。

そしてこの一年間「みずなみ瀬戸の里だより」を読んでいた皆様本当にありがとうございます。新聞委員一同、一生懸命記事を書かせていただきました。新聞委員一同、一生懸命記事を書かせていただきました。一つ一つの事は時には記憶からなくなってしまうこともあります。新聞に掲載させていただいたことで、いつまでも記録に残ります。去年は何をしたんだっけ、あのころは何をしたのかなど過去を振り返った時にはこの新聞を読み返して、昔話に花を咲かせていただければ幸いです。

それでは一年間ありがとうございました。これからも「みずなみ瀬戸の里だより」は続きます。新聞委員のメンバーも変わり、新しく新聞委員として活躍する職員も加わります。引き続きご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

平成25年度 新聞委員長 水野貴司

